

ひとり親世帯の皆さん

児童扶養手当のご案内

岡子ども家庭支援課 ☎71・2255 ID 63644

児童扶養手当は、父母の離婚などにより、一人で子どもを養育している家庭等へ支給されます。申請は随時受け付けています。

【受給対象】▷父母が離婚した児童の養育者 ▷父または母が死亡した児童の養育者
▷父または母が重度の障がいの状態にある児童の養育者 など（詳細は市HPをご覧ください）

【支給金額】

区分	月額	児童加算額	
		第2子	第3子以降1人につき
全部支給	43,070円	10,170円	6,100円
一部支給	所得に応じ 10,160～43,060円	所得に応じ 5,090～10,160円	所得に応じ 3,050～6,090円

※所得制限があります。受給者以外に、同居親族（扶養義務者）の所得も審査対象となります。

◆児童扶養手当の認定を受けている人は、現況届の提出をお願いします

現況届の提出が必要な人には、7月下旬に郵送します。受付期間中に必要書類を持参の上、必ず本人が手続きをしてください。代理人や郵送での提出はできません。届け出がない場合、11月分以降の手当が受けられません。

【受付期間】8月1日（月）から31日（水）まで 【受付場所】子ども家庭支援課、支所

【注意事項】▷2年間届け出をしないと受給資格がなくなります。
▷該当者に送付している「児童扶養手当一部支給停止適用除外届出書」の提出期日を過ぎると、手当額が2分の1に減額される場合があります。

子どもたちの「家庭」での暮らしを支援する

養育里親を募集しています

岡子ども家庭支援課 ☎71・2265 ID 66980

市では、松本赤十字乳児院や松本児童相談所などと連携し、養育里親を募集する取り組みを応援しています。生まれた家庭で生活できない子どもを預かり、その家庭を応援するコミュニティー・ファミリー・パートナー（通称CFP）になりませんか。

CFPは、さまざまな事情を抱え子どもを育てることができない親の代わりに、一定期間ご自身の家庭で子どもを養育する里親です。

子どもを預かる期間は？

その子に必要な期間に応じ、数日から1カ月程度の短期や、数カ月から数年にわたる長期などさまざまです。

何か資格が必要ですか？

特別な資格は必要ありません。事前の研修を受けるなど、一定の要件を満たせばCFPとして認定されます。

養育費などは実費？

子どもを養育している期間は、県から生活に必要な経費や里親手当が支給されます。

◆里親相談会 in 安曇野

里親に関する疑問にお答えする相談会を開催します。子どもたちの福祉のために一步を踏み出していただける皆さんをお待ちしています。

☎8月21日（日）午前10時～午後3時（最終受付は午後2時30分）

☎穂高交流学習センター「みらい」 ☎無料

☎松本赤十字乳児院へ電話（☎31・5206）で。受付時間は平日午前9時～午後5時



松本赤十字乳児院HP

夏の火災防止

バーベキュー、花火、お盆の迎え火・送り火は、夏特有の火災の原因となります。

いずれも、火が消えたのを確認せずに立ち去ってしまったり、燃えやすいものの近くで火をつけてしまったりといった、火の取り扱いの不注意によるものです。必ず消火の準備をし、燃えやすいものを遠ざけるなど、火災防止に気を付けてください。

☎お近くの消防署へ

宝くじの助成金で備品を整備

島新田区では、（一財）自治総合センターの「コミュニティ助成事業」を活用し、テレビ、会議机などを整備しました。この助成事業は、宝くじ受託事業収入を財源とし、宝くじの社会貢献広報事業の一環として、市町村の明るく住みよいまちづくりの推進に役立っています。

☎地域づくり課 ☎71・2494 ID 80391



信州大学
安曇野市
連携事業

一般介護予防教室「エンジ ヨイシニア！実践おたっしや 塾（穂高会場）」を開催します。
☎9月6日～11月22日
火曜日・全12回
午後1時30分～2時30分
☎穂高地域福祉センター
☎おむね65歳以上の市民（関節疾患等のある人は要相談。医師から運動制限の指示がある人は参加できません）
☎心身ともに元気で健やかな生活を送るための秘訣を、体操や各種講話を通じて学びます。運動強度は、弱から中程度。
☎無料 ☎20人（抽選）
☎7月25日（月）から29日（金）に電話で
☎他12月から明科地域で同教室を開催予定です。
☎高齢者介護課 ☎71・2474 ☎68062

学ぶよろこび、明日を変える。 市民大学講座 信州大学編

市民を対象とした生涯学習の場として、信州大学から講師を迎え、市民大学講座を開催します。

●共通事項

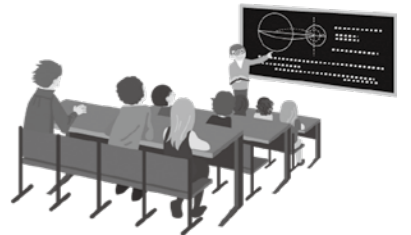
開催時間 午後7時～8時30分 ☎無料

☎各50人（抽選。受講者には案内ハガキを8月上旬に送付します）

☎7月20日（水）から29日（金）に郵便番号・住所・氏名・電話番号・希望する講座を明記の上、生涯学習課へ持参・ハガキ・ファクス・電子メールのいずれかの方法で提出。

☎〒399-8281（住所不要）生涯学習課 宛て（当日消印有効）

☎生涯学習課 ☎71・2466 ☎71・2338 ☎shogaigakushu@city.azumino.nagano.jp ID 01384



●講座詳細

日程・場所	演題	内容
第1回 ☎8月18日（木） ☎豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール	人にとって住みよい環境とは？～生物学的視点から考える～ ☎藤山静雄さん（理学部特任教授）	現代は便利で豊かな世の中ですが、必ずしも皆が住みよいと感じているわけではありません。社会が発展してきたにも関わらず、住みよくなっていかないのは何故か？生物と環境との関わりを、生物学的視点から解析した結果を交え、皆さんに「住みよいとは？」何なのか考えてもらいます。
第2回 ☎8月25日（木） ☎豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール	トウガラシの科学 ☎松島憲一さん（農学部教授）	身近な香辛料・野菜であるトウガラシを科学する講座です。トウガラシは何故辛く進化したのか？ピーマンもトウガラシの一種なのに何故辛くないのか？通常辛くないシントウが辛くなってしまうのは何故か？といった辛味の不思議から、信州の伝統野菜に名を連ねるトウガラシの紹介まで行います。
第3回 ☎9月1日（木） ☎豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール	ジオパークで学ぶ防災～地球からのメッセージを読み解こう～ ☎大塚勉さん（地域防災減災センター特任教授）	「災害は忘れた頃にやってくる」。地震などの自然災害の再来周期は、人間の一生よりも長いことが多いのです。災害の歴史は、地質関連の文化財として保存され、最近整備されているジオパークで体験的に学ぶこともできます。地質関連の文化財やジオパークの魅力を探りながら減災を学びます。
第4回 ☎9月8日（木） ☎市役所4階大会議室	花粉症と食物アレルギー～症状緩和の糸口とは？～ ☎片山茂さん（農学部教授）	今や国民病とまで言われるようになってきた花粉症。また、食物アレルギーに悩まされている人も急激に増えました。花粉症や食物アレルギーの人はこれからも増え続けることが予想されます。皆さんと一緒に花粉症や食物アレルギーと食生活との関係について考えます。
第5回 ☎9月15日（木） ☎豊科交流学習センター「きぼう」多目的交流ホール	だまされる心の心理学～人はどうして「思い込み」にだまされてしまうのか～ ☎菊池聡さん（人文学部教授）	なぜ特殊詐欺や悪質商法、オカルト番組、ニセ科学などに簡単にだまされてしまうのか。その心の働きを認知心理学から考え、ものごとを批判的に考えるための基本的な姿勢と知識を説明します。